



# 学校だより

5月号

平成28年5月2日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子



## スマイル班活動

学校長 小澤 紀子

新緑のまぶしい季節となりました。新学期がスタートして間もなく起こった熊本地震に心が震えました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々、関係の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日もはやい復旧・復興をお祈りいたします。

本校では、新学年で1か月が過ぎ、新しい学年・クラス・友達・先生にも徐々になれてきた様子です。本日（4/25）「スマイル班はじめましての会」が行われました。スマイル班は6年生のリーダーを中心に1年生～6年生までが集まった縦割り班です。本校の教育活動の特色の一つとして受け継がれてまいりました。スマイル班の立ち上げは平成20年度です。学年・学級という横のつながりだけではなく、いろいろな学年がもっと仲良くなって、笑顔（スマイル）いっぱいの善部小学校にしようという思いからスマイル班と名付けられました。近所の仲間が集まって自然と異学年で遊ぶということがめっきり少なくなってきた昨今、年上、年下の子たちが一緒に遊んだり、話し合ったり、時にはぶつかったりすることは、子どもたちにとって貴重な経験となります。今年9年目を迎えたスマイル班活動。6年生は入学したときからこの活動で様々なことを体験し、学んできました。昨年度ビブスを引き継ぎ、リーダーとしての自覚も芽生えてきました。

2時間目、まず6年生が1年生を迎えに行きます。本当に「はじめまして」の子もいます。次々と集まってくるメンバーに子どもたちもリーダーも緊張の面持ちです。その後自己紹介やZSF（善部スポーツフェスティバル）のための旗に名前を書く作業を行っていくうちに表情も和らぎ、仲良くなるためのゲームを行いました。1時間活動して解散する頃には、6年生にぶらさがっている1年生もいるほど打ち解けています。もちろん緊張が解けない子もいます。けれども、時間をかけてゆっくり上級生のやさしさや気配りにふれ、自然と笑みがこぼれてくるようになります。この日も6年生が1年生を教室まで送っていく姿がありました。

そして、この後スマイル班活動は、ZSF・全校遠足・子ども会議とつながっていきます。年下の子を思いやるやさしさや、年長の子に対するあこがれなどが育まれていきます。人とのかかわりの中で成長していく子どもたち。スマイル班活動がスタートしました。

年度始めの懇談会で今年度のPTA役員が決定いたしました。今年度から指名委員を含め学年で選出するように変更いたしました。本部役員さんのお力添えもあり、新メンバーを決めることができました。本部役員さんをはじめ、各委員をお引き受けいただきました皆さん。本当にありがとうございます。豊かな子どもたちの経験のため、ご協力をお願いいたします。

また、4月16日（土）には、安全ボランティア会議が行われました。115名ものボランティアさんが登録してくださり、子どもたちの登下校を見守ってくださっています。地区委員さんもお出席くださり、ボランティアさんから子どもの安全についてご意見もいただきました。スクールゾーン協議会につなげてまいります。

正門近くの時計がずいぶん長い間止まっていました。調整中と張り紙をしたままになっていましたが、地域の方のご尽力によりまた時を刻み始めました。古く特殊な時計のため、業者に修理を依頼していましたが、部品などの関係で修理不可能との回答でした。どうしたものかと困っていたところ、地域の方からお声をかけていただきました。「直るかどうかわからないけどやってみるよ。」と何度も足を運んでいただき、有志の方が部品を探し、遅れてくるとまた調整し、不可能と言われていた時計が見事に修復いたしました。本当にありがとうございました。

たくさんの方々に支えていただいていることを実感しています。心より感謝申し上げます。